

47 北支事変勃発に伴う本邦留学満支両国人学生生徒取扱
に関する会議事録 [昭和十二年七月]

供閱

(注記3)

昭和十二年七月十五日

(相良)

事務官 (石井)

(神野)

学務課長 (有光)

(有光)

(山川)

(藤野)

(町田)

(山井)

(羽田)

次官 (伊東)

(伊東)

専門学務局長 (藤野)

(藤野)

普通学務局長 (小笠原)

(小笠原)

実業学務局長 (石井)

(石井)

(高坂)

(中口)

(久村)

(朝比奈)

(朝比奈)

(石井)

(石井)

(町田)

(山井)

(羽田)

(高坂)

(中口)

(久村)

(注記5)

(関口)

(近藤)

(注記6)

一、北支事変勃発二件フ本邦留学満支両国人

学生々徒ノ取扱ニ関スル会議々事録

△会期 昭和十二年七月十四日午後三時ヨリ午後四時半迄

△会場 本省第一会議室

△出席者

本省側 藤野実業学務局長、朝比奈普通学務局学務課

長、田中実業学務局商工教育課長、其他専門

学務局、普通学務局、実業学務局係員

学校側 東京帝国大学外六十三校(東京、神奈川、千

葉一府二県ノ大学、高等学校、専門学校、高

△議事

等師範学校、各種学校(東亜学校ノミ)ノ当
局者(別表参照)

一、挨拶 藤野局長

二、指示 朝比奈課長

三、実状報告 東大外九校ノ当局者

四、挨拶 朝比奈課長

以上

一、挨拶(藤野実業学務局長)

本日ノ会合ハ突然ノコトデ定メシ御迷惑ノコトト思ヒマス。

此ノ暑サニモ拘ラズ斯ク多数ノ御出席ヲ得マシタ事ハ幸甚ニ

存ジマス。最近北支ニ於テ思ハザル事端ノ発生ヲ見ルニ至リ

マシタガ、ソレニ関スル帝国政府ノ根本方針ハ確固不動タル

モノデアリ、広ク中外ニ声明セラレマシタ事ハ各位ニ於カレ

マシテモ既ニ御承知ノ事ト思ヒマス。

文部当局ト致シマシテモ今回ノ事変ニ際シ各学校当局ガ一般

的ニ御留意ヲ願ハネバナラヌ事ハ既ニ通牒ヲ以テソレト通

達シタ次第デアリマシテ、各位ニオカレマシテモ充分御注意

ノ事ト思ヒマス。本日御集リヲ願ヒマシタ学校ハ支那留學生

ソノ他満洲国、蒙古地方ノ學生ガ多数在学シテ居ル学校デア

リマシテ、左様ナ事情ヨリシテ、特別ニ各位ノ細心ナル御用

意ト御注意ヲ願ヒシタイト思フ次第デアリマス。言フ迄モ

無ク我が国民ハ伝統的ニ正義ヲ重ンズル(抹消)(加筆)〔国民〕デア

リ、大国民トシテノ襟度ヲ常ニ失ハナイノデアリマスガ例ヘ

今回ノ事變ノ勃発ヲ見ルニ至リマシテモ、留学生ノ本来ノ目的ナル学習以外ニハ何等顧念スル事無ク安ンジテ各々ソノ学業ニイソシム様充分ノ安心ヲ与へ、又同時ニ擁護ヲ加ヘテ頂キタイノデアリマス。此ノ点ニ関シマシテハ教職員ノ方々ハ固ヨリ一般学生々徒ニ於テモ特別注意ヲ払ハレン事ヲ切望致シマス。又満洲国留学生ニ関シマシテハ日滿両国ノ特殊ノ關係ト、満洲国ノ一徳一心ノ建国精神ニ顧ミ、愈々学業ニ精励シ学習上萬遺漏ナキヲ期シタイノデアリマス。要スルニ今回ノ事變ニ際シテ国民ト致シマシテ殊ニ教育ニ職ヲ奉ズルモノトシテ、深キ注意ト周到ナル用意ヲ以テ安ンジテ留学生ガ習学、勉強ヲ為シ遂ゲル事ノ出来ルヤウ充分ナル擁護、指導ヲ加ヘネバナラヌト思フノデアリマス。此等ノ事項ニ就キマシテ〔^{採消}段々〕御相談致シ度イト存ジマシテ御参集願ツタ次第デアリマスカラ、各位ハ此等ノ事情ヲ諒トセラレ充分御協議ヲ才願ヒ致シマス。

二、指示（朝比奈普通学務局学務課長）

- (一) 教職員ハ勿論一般学生々徒ハ留学生ニ対シテ常ニ大国民タルノ襟度ヲ失ハヌ様シテ頂キタイ。
- (二) 教職員及学生ハ中華民國留学生ヲ刺戟スル様ナ言動ヲ厳ニ慎マレタイ。
- (三) 満洲国入留学生ニ対シテハ日滿提携ノ不動ノ方針ヲ以テ望ミ彼等ヲシテ毫モ不安ナカラシムル様シテ頂キタイ。
- (四) 夏期休暇中ト雖モ留学生ト常ニ聯絡ヲ取り懇切周到ナル態度ヲ採リ帰国、在留者等ノ調査ヲシテ頂キタイ。又学校当

局ニオカレテハ留学生ノ休暇中ノ居所ヲ常ニ承知シテ居ル様ニセラレタイ。尚留学生ノ身上ニ対スル相談ニ応ジテ頂キタイ。

(五) 休暇明けノ新学期ニ於ケル、滿支両国其他外国人留学生ノ就学状況ハ之ヲ遲滞ナク報告セラレタイ。

(四)、(五)ノ事項ニツキテハ予メ本省ヨリ照会ヲ発スル筈デアル。

三、実状聴取（朝比奈課長ヨリ東大外九校ヲ指名）

(一) 東京帝国大学（学生主事吉田孝一）

支那留学生ハ二三名ニシテ大部分ハ所謂本科生ニ非ズシテ訓育上困難ガアル。支那留学生ノ有志十名程、休暇中九州方面ニ旅行ノ予定デアツタガ病氣ヲ口実トシテ旅行ノ中止ヲ申出デタ。農学部学生（内支那留学生数名アリ）ハ目下助教授引率ノ下ニ北海道ニ旅行中デアル。留学生ニ関シテハ休暇ガ明ケネバ充分ナ調査ハ不可能デアル。

(二) 早稲田大学（学生課長中島太郎）

現在支那留学生ハ別ニ不安ヲ感ジテ居ナイ様デアル。今回ノ事變ガ如何ナル影響ヲ及ボシタカハ目下ノ処不明、中華留学生ハ百四五十名デアル。学校トシテハ今後入学ニ際シ益々厳選スル必算デアルカラ数ハ減少スルト思ハレル。

(三) 明治大学（学生主事田中秋男）

支那〔^{加筆}人〕留学生ハ目下四百名以上デ大部分ハ大学院ニ在

学中、コレヲ統括スル機関トシテ中華学友会ナルモノガ
アリ専任ノ囑託ガ会務ニ従事シテ居ル。留学生ハ大体六
月末二五分ノ四以上帰国シタ様子。学校当局トシテハ文
部省ノ趣旨ノ存スル処ヲ十二分ニ体スル心算デアアル。

(四)東京工業大学(附属予備部主事福井私城)

目下休暇中ナレバ約半数ハ帰国中、学校当局トシテハ留
学生ノ動向ニ注意ヲ払ヒ集会等ニ觀察ヲ加ヘル心算、現
在マデ何等ノ不安、動揺モナシ。

(五)法政大学(教務課員浅野某)

留学生ノ団体トシテ中華同学会ナルモノガアリ自分ガソ
ノ方面ノ事務ニ当ツテ居ル、六月末ニ留学生ノ三分ノ二
以上帰国シ其他ハ避暑ニイツテ居ルノデ詳細ハ不明デア
ル。

(六)日本大学(教務課長福島嘉重)

留学生ノ不安トシテハ「民国二十六年ノ入学制限規程」
ニ対スル不安ノミデアアル、留学生ノ会トシテ学生会ガ中
心トナツテ聯合会ナルモノガアル、本学学生課ニ於テ警
察ト聯絡ヲ取り留学生ノ取締ヲナス心算デアアル。

(七)第一高等学校(生徒主事某)

特設高等科生九四名中支那人生徒ハ五七名、九四名ノ中、
五十名ハ帰国シ残りノ生徒ハ旅行又ハ勉強ノ為残留、目
下残寮支那人学生ハ約二十名居ルガ生徒主事ヨリ訓示ヲ
ナシタ。彼等ノ最モ心配シテ居ルノハ本国ヨリノ送金デ
アルガ学校トシテハ最悪ノ場合物質的ニ心配シテヤリタ

イト思フ、北平天津方面ヨリノ留学生ハ十名程居ル、最
近附属予科ノ入学試験ヲ施行、五八名願書提出、五五名
受験十名合格シタ。

(八)善隣専門学校(井上璞)

支那人学生ハ十八名程居ル、別ニ何等ノ不安モナイ模様
(九)東京女子高等師範学校(生徒主事江本ヨシ)

支那人留学生五四名存ス、十日ノ終業式ニモ出席、別ニ
異状ナシ。

(十)東亜学校(教頭山根藤七)

支那人留学生ハ六三一名在学、授業ハ^(加筆)七月二十日迄ア
ルガ今回ノ事変ノタメ生徒ガ動揺シタトイフ様子ハ見え
ヌ、以前ハカ、ル事変ガ起ルト外部カラ生徒ヲ煽動シタ
モノガアツタガ現在ハカ、ル事ハ無イ模様デアアル。

四、挨拶(朝比奈課長)

以上承リマシタ処、各学校当局ニ於テハ留学生ニ対シテ充分
御注意下サツテ居ル様デ今後モ左様才願ヒ致シマス。尚今後
文書ヲ以テ照会スル場合モアラウト思ヒマスガ宜シク願ヒマ
ス。近日中通牒ヲ以テ、満支両国人留学生ニ対^(抹消)(スル)^(加筆)(シテ)
在学証明書ニ必ず写真ヲ貼付スル様才願ヒスル筈デアアルカラ
左様御承知下サイ。デハコレヲ以テ本日ノ会議ヲ終ルコトト
致シマス。

大学、高等学校、専門学校外国人留学生調

(昭和十二年三月末日調)

東京市内外所在ノ滿支那両国人留学生在籍学校数

| 種別 | 所管局 | | 高等學校 | 專門學校 | 高等師範學校 |
|--------|---------------|-----|------|----------|----------|
| | 專門 | 普通 | | | |
| 大學 | 內 △二 ○三 | 二〇校 | 四 | 二六 | 五〇 |
| 高等學校 | — | — | — | — | — |
| 專門學校 | — | — | — | — | — |
| 高等師範學校 | — | — | — | — | — |
| 計 | △二 ○三 | 二〇 | 四 | 二六 三七 | 五〇 六三 |

| 總計 | 東京市在所學校 | | | 東京市外在所學校 | | | 學校名 |
|----------|---------|-----|------|----------|-------|------|--------|
| | 計 | 滿洲國 | 中華民國 | 計 | 滿洲國 | 中華民國 | |
| △〇〇〇〇〇〇〇 | 三九四 | 七 | 三一九 | 二、六七九 | 一、九四七 | 六二一 | 大學 |
| △〇〇〇〇〇〇〇 | 四 | — | — | 一、一三 | 七 | 四一 | 高等學校 |
| △〇〇〇〇〇〇〇 | 二九三 | 二九 | 一、二一 | 三〇八 | 一六六 | 一一一 | 專門學校 |
| △〇〇〇〇〇〇〇 | 七〇 | — | 二四 | 九五 | 六 | 六四 | 高等師範學校 |
| △〇〇〇〇〇〇〇 | 七六一 | 三八 | 一六五 | 三、一九五 | 二、二〇九 | 八四 | 計 |

備考

△印ハ支那人ノミ在籍
○印ハ滿洲國人ノミ在籍

| 種別 | 東京市内外所在ノ滿支那両国人留学生在籍学校表 | 出席者 |
|------|---|--|
| 大學 | 東京帝國大學 東京商科大學 △千葉醫科大學 東京工業大學 東京文理科大學 慶應義塾大學 早稲田大學 | 學生主事 吉田孝一 同 石井最 職員 附屬予備部 福井私城 職員 學生係 松田宮作 同 伊(抹消)田克哉 學生課長 中島太郎 專門部學生係主任 伊藤道機 學生主事 田中秋男 淺野 某 學生主事 梅島盛久 教務課長 福島嘉重 事務長 山川泉 教務係長 板垣三郎 學生主事 和田正俊 江頭正治 幹事 大久保堅瑞 學生主事 田辺英治 職員 幹事 鵜塚壽夫 學生監 渡辺政雄 |
| 高等學校 | 第一高等學校 | 生徒主事 某 |
| 計 | 二〇校 | |

| | |
|--------------------|------------|
| ○東京高等学校 | 職員 |
| ○武蔵高等学校 | 舎監 則武明之 |
| 成城高等学校 | 生徒係長 副島恒春 |
| 計 四校 | |
| 専門学校(専門関係) | |
| 東京外国語学校 | 教授 吉田彌邦 |
| 東京美術学校 | 生徒掛長 高橋吉雄 |
| △東京音楽学校 | 生徒主事 馨 寿夫 |
| △東京高等歯科医学校 | 生徒係長 |
| △明治学院 | 生徒主事補 伊藤 博 |
| △関東学院 | 院長代理 澤野良一 |
| 東京歯科医学専門 | 教授 安井作太郎 |
| △日本歯科医学専門 | 学生係長 中原信一 |
| 東京物理学校 | 講師 白井傳三郎 |
| 東京医学専門学校 | 生徒監 高橋修治 |
| △明治薬学専門学校 | 校長 高橋三郎 |
| 昭和医学専門学校 | 生徒主事 助川邦彦 |
| △横浜専門学校 | 職員 |
| 武蔵野音楽学校 | 教務主任 本橋栄治郎 |
| 日本女子大学校 | 藤原千代 |
| ○帝国女子専門学校 | 伊藤カズ |
| 東京女子医学専門 | 職員 |
| 女子美術専門学校 | 生徒主事 田村一郎 |
| △東京女子薬学専門 | 職員 |
| 東京家政専門学校 | 校長 大江スミ |
| (抹消)(加筆) | |
| (東京)(帝国)女子 医薬専門 | 生徒監 山下泰朗 |
| 東京女子体育専門 | 職員 |
| 東洋女子歯科医専門 | 生徒主事 阿部精二 |
| 日本女子歯科医専門 | 生徒主事 澤田ちか |
| △東京薬専女子部 | 校長 秋谷七郎 |
| △女子経済専門学校 | 職員 某 |

| | |
|-------------|-----------|
| 計 二六校 | |
| 専門学校(実業関係) | |
| △東京高等工芸学校 | 教務課長 三浦平吉 |
| △横浜高等工業学校 | 職員(富山校長) |
| △東京高等蚕糸学校 | 岩淵平介 |
| △千葉高等園芸学校 | 職員 |
| 東京高等農林学校 | 職員 |
| ○善隣専門学校 | 井上環 |
| 東京高等獣医学学校 | 教授 阿部寅吉 |
| 麻布高等獣医学学校 | 校長 |
| ○横浜商業専門学校 | 前田校長 |
| ○東京高等商船学校 | 校長 須川邦彦 |
| ○日本女子高等商業学校 | 教務係長 嘉悦龍人 |
| 計 十一校 | |
| 高等師範学校 | |
| 東京高等師範学校 | 幹事 森本角蔵 |
| 東京女子高等師範学校 | 生徒主事 江本ヨシ |
| 計 二校 | |
| 各種学校 | |
| 東亜学校 | 教頭 山根藤七 |
| 総計 六三校 | |

備考
○印ハ滿洲国民ノミナリ。
△印ハ支那人ノミナリ。

(注記1)

「秘」

(注記 2)

「完決」

(注記 3)

「文部省 発専100号 年 月 日」

(注記 4)

「裁決定 8月10日」

(注記 5)

「記録掛 14・1・6 受領」

(注記 6)

「一」(簿冊内件名番号)

〔自昭9年11月至昭22年4月 外国人留学生〕
〔第1冊〕 文部省 3A, 32—6, 2458